

社  
SHA

楽  
RAKU

神奈川県立川崎図書館 が所蔵する  
全国有数の〈社史コレクション〉を  
さらに活用していただくため、  
社史の使い方や、社史の楽しさ、  
社史情報などをお届けしていきます。

Vol.18

2013/06

社史の仕事も少し慣れてきた池ちゃんです。5月に今年度初の社史ができるまでの講演会『花王120年』ができるまで、花王ミュージアム設立からの流れ」を開催しました。今回はその報告をします。

講師の上田和夫さんは、元花王ミュージアム・資料室室長でした。花王が築いてきた伝統や歴史を展示し、花王の現在までを人々に伝える企業ミュージアムです。2007年から一般に公開されました。

ミュージアムの開館後、上田さんは120年史の編纂に着手します。

冊子の制作では『花王史100年』の記述を見直すとともに、直近20年のグローバル化の流れなどを、ストーリー性も感じられるように表現しました。



2013年5月24日 満員の会場の様子

社員やOBの方からのヒアリング（戦中・戦後も含め）を重視し、時間をかけて取材されたこと。時代で分けず、テーマごとに執筆依頼するなど、花王の「よきモノづくり」へのこだわりが、社史でも活かされたのだと思います。

一方、映像版では、花王で所有するオリジナルの写真や画像をなるべく多く用いました。古い資料の見せ方を工夫し、また部分的に再現ドラマを交えたりして、誰でも楽しみながら花王を広く知ることのできる、貴重な映像が盛りだくさんのDVDを制作されました。

こうして800頁以上の『通史』、120年分の年表を中心とした『資料編』、そしてDVD『よきモノづくり』の系譜』がセットとなり、『花王120年』として完成したのです！

（裏面へ）

よきモノづくりのまじで講演会、1周年！

（表面から）

お話の中で、とくに池ちゃんが印象深かったのは、編纂開始時に一次資料の収集で御苦労される企業が多い中、資料室に資料が入ってくるシステムはできていたので、その面で御苦労は少なかったとのことでした。ただ、最近の資料はパワーポイント等で作成されたものが多く、説明文が少なくてわからないこともあったそうです。そして、よいチームのメンバーが集まって、それぞれの経験を活かすことができたのがとても良かったとおっしゃっていたことです。

上田さん、貴重なお話、ありがとうございます。  
（科学情報課／小池）

☆お知らせ☆

神奈川県新聞にタイトル名「社史つて楽しい」（5月末より全7回の予定）の連載がはじまりました。

毎週水曜日の文化面に、社史を読むと知ることが出来るちよっとした面白い事柄をご紹介します。

県立川崎図書館社史室入口にも掲示してありますので、ご来館の際には是非ご覧ください。

（科学情報課／高田）

編  
纂

### 池ちゃん工場見学へ行くの巻

講演会の後、個人的に関心を持ったのでプライベートで、花王ミュージアムと工場見学（東京都墨田区/要予約）に行ってきました！

社史の中に詰まっていた映像や事柄を、実際に観ることができて、楽しい時間でした。

花王が製品管理技術や、研究に力を注いでいることなども説明していただきました。

見学に行った後、再び社史を開いてみると、自分が注目できていなかった内容にも目がとまり、社史の新たな魅力に気づくことができました。

作り手の気持ちを受け止め、読み方を知ること大切なのだと教えられた気がします。

いろいろと知って、体験した事で、色合いとシルエットが美しい装丁の『花王120年』を眺めていたら、社史がなんとなく美人画に見えてきた池ちゃんでした。



花王すみだ事業所

【あしがき】

できるまでシリーズの講演は、始まって早一年となりました。回を増すごとに、参加してくださる方々が増え、今では定員を大幅に超えるお申込みをいただくまでに成長しています。当館職員一同本当に感謝しています。改めてお礼申し上げます。

そして、いつもお願いばかりで恐縮ですが、社史を制作・出版された際は、是非当館へご寄贈ください。皆様の心のこもった社史が社史室で有効活用される。そんなことを願っています。

さらにできるまでシリーズでも、ご講演いただければ幸いです。社史にこめた気持ちを思いっきり皆さんに伝えてみませんか。まずは、スタッフにご相談ください。今後ともよろしくお願いたします。

（科学情報課／小池）

●お問い合わせ先 神奈川県立川崎図書館 科学情報課

210-0011 川崎市川崎区富士見2-1-4

電話：044-233-4537 FAX：044-210-1146

<https://www.klnet.pref.kanagawa.jp/kawasaki/index.html>